

1 見直しのポイント

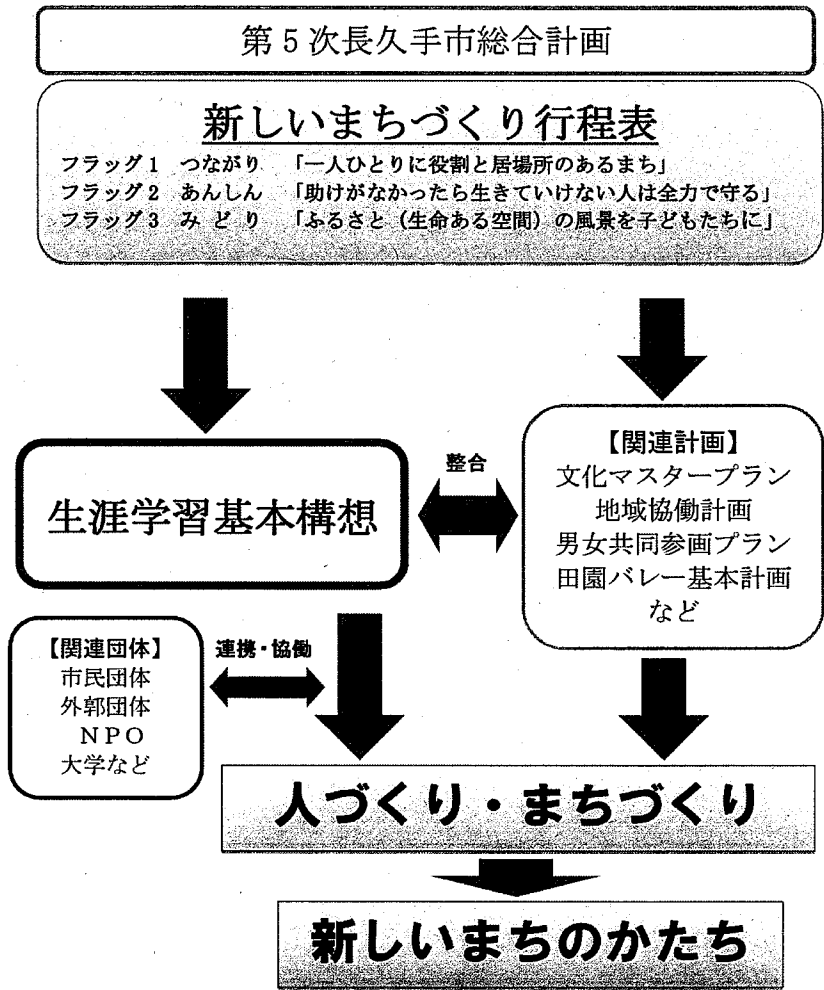
- 市政の基本指針「新しいまちづくり行程表」により一人ひとりの幸福度が高い「日本一の福祉のまち」を目指している。
- 生涯学習に取り組むことは「人々の幸福」や「いきがい」につながり、充実した生活を送るうえで重要な役割を果たす。
- 今後は市民が主体となり、市民と行政が協働して生涯学習を推進する必要がある。



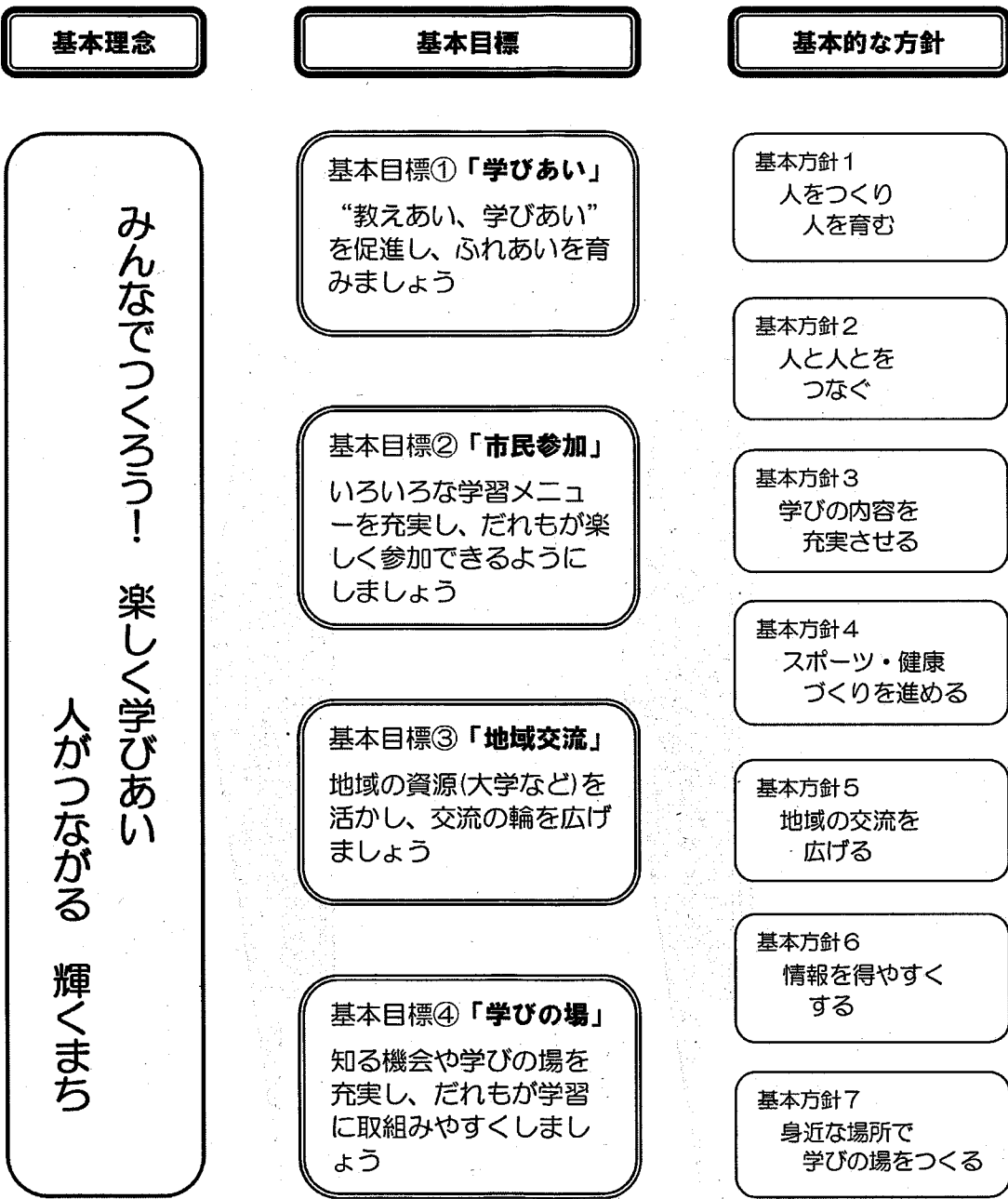
市民が主体となり、市民と行政が手を取り合って生涯学習を推進していくことで、一人ひとりに「役割と居場所」があるまちを実現するための大きな方向性を示すことを、構想見直しのポイントとする。

2 構想の位置づけ

- 生涯学習は、一人ひとりの能力向上を図り、人と人がつながり、地域の絆を取り戻し、「人づくり」「まちづくり」につなげていくための手立てである。
- 市民が主体となり、市民と行政が協働して取り組むとともに、各種団体や大学との連携を強化し、行政と役割分担をしながら協働して取り組む。



3 構想の体系



4 新たに盛り込んだ主な施策

- 市民が地域に関わるしくみづくり
- 退職後世代を生涯学習へ導く
- 生涯学習の拠点として既存施設を有効活用する
- 一元化された情報の積極的な発信
- 地域共生ステーションにおける生涯学習の場の提供